

《平成23年度 大歳駅活性化委員会 活動状況》

IV「地域の課題を、みんなで解決しよう」

◎大歳駅の活用

・大歳駅活性化委員会の開催

23年度、開催された「おいでませ！山口国体・山口大会」にあわせて、山口市により大歳駅がおもてなしの玄関口として、きれいに改修されました。これを機に大歳地区の活性化の拠点として、駅舎の有効活用を考える大歳駅活性化委員会を設置し、活動を行ってきました。

山口国体・山口大会開催期間中(計14日間)における大歳駅で案内業務を行い、約2,500人の来場者に対して、会場までの道案内やパンフレット配布などのおもてなしを実施しました。(※「まちづくりかわら版おとし」第11号をご参照ください。)

【大歳駅でのおもてなしの様子】



また、大歳自治振興会が平成24年4月から山口市大歳地域交流ステーション(大歳駅舎)の指定管理者となり、駅舎の管理運営を行うことから、施設備品などの整備を行いました。

なお、地域の皆さんから愛される施設とするため、愛称を募集したところ、多数の応募の中から「交流列車おとし」が選ばれました。

交流列車 **おとし**